

令和4年度 宮崎科学技術館 事業計画書

基本方針

宮崎科学技術館は、宮崎市制60周年記念事業として、明日を担う子どもたちに「科学する心」と「創造性」を培う場を提供するために開設された施設である。昭和62年8月の開館以来、一貫して充実した施設・設備を活用した管理運営に努めてきた。特に近年、利用者は幼児から高齢者まで幅広く、障がいのある方や外国人の利用も増えていることから、利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営に努めている。今後、更に市民から信頼されるよう、次の3つの基本方針の基、継続的・発展的な管理運営を行っていく。

- 〈基本方針1〉科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図り、未来を担う子どもたちの「科学する心」と「創造性」を培うとともに、あらゆる世代に科学を楽しく体験する機会と場を提供する。
- 〈基本方針2〉地域の関係機関・団体・ボランティアと連携・協働し、利用者のニーズに応じた満足度の高いサービスの提供を通して地域づくりに寄与する。
- 〈基本方針3〉科学の普遍性と革新性を踏まえた魅力ある事業を展開するために、全職員が教育的な目的や効果を意識した事業運営を行うとともに、的確な経営感覚による施設運営を行う。
- 〈基本方針4〉SDGs（持続可能な開発目標）を推進するために、プラットフォームとしての機能を果たすため、各イベントの広報紙や説明用モニター、館内展示物のサインボード等にロゴを掲示することにより、宮崎市民及び来館者に対して、取組を「見える化」し、行動を推進する。

事業概要

1 常設展示事業

常に展示物の安全管理と安定的稼働を念頭に置き、展示物のリニューアルも視野に入れながら、利用者が体験を通して科学の原理原則を発見・体得できるような展示配置や解説に努める。

2 教室事業

科学実験や工作、天文等各種教室を実施し、利用者の科学への興味・関心を高めるとともに、市民のニーズに対応した事業展開に努める。

3 プラネタリウム事業

全天周投映システムによる幅広い年齢層に応じた番組や小・中学校の学習番組の投映に加え、えほんの読み聞かせや各種コンサートの実施など、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムを活用した事業展開に努める。

4 イベント事業

当館の設置目的に沿った各種イベントの一層の充実を図り、科学に親しむ機会や科学技術・自然・人間との関りを通して、環境問題などを身近に感じてもらう機会の創出・提供に努める。

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

小・中学校、高校、大学、企業や教育ボランティア J S C (ジョイフル・サイエンス・クラブ) など、関係団体との更なる連携強化による一層の事業展開に努める。

6 その他

新たな宇宙事象に関すること、教育現場における新学習指導要領実施に伴うニーズに応えること等を目的とした新規事業や、多様なメディアを活用した情報提供、友の会への勧誘などを通して、施設の有効活用や利用者拡大に努める。

1 常設展示事業

来館者が、約 100 点の常設展示物による遊びや体験を通して、科学の不思議に気づき、体得できるように努める。また、令和 3 年度に作成した「授業に使える展示物～校外学習・出前講座等を充実させるガイドブック～」やワークシート等で展示解説の充実を図る。

2 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

幼児、小・中学生を中心に、多様な入館者を対象とした科学実験や工作等の教室を実施する。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定 員
1	チャレンジサイエンス	入館者	30回	なし
2	エンジョイサイエンスショー	入館者	10回	なし
3	なんでもサイエンス ※スペシャルサイエンスショー4回を含む	入館者	20回	各16組
4	ダ・ヴィンチ工房	小4～中3	6回	各20人
5	自由研究サポート教室	小・中学生	約2週間	なし
6	生きがい科学館	大人	8回	各20人
7	科学技術週間工作教室	入館者	10回	各20人
8	宮崎少年少女発明クラブ	小4～中3	20回	30人
9	コスモランド教室	園児	12回	各240人
10	コスモランドサイエンスラボ	小学生	随時	80人以内
11	サイエンス親子学習教室	親子(小5)	2回	各16組
12	どろだんご教室	小学生～大人	2回	各50人
13	ちょこっと工作(アウトリーチ)	親子	随時	なし

(2) 天文教室

幼児から大人を対象に、プラネタリウムホールを活用した、星座の学習や星座にまつわる楽しい神話等の解説を通して、天文に関する知識の普及を行い、興味・関心を高める。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定 員
1	星空教室	幼児～大人	10回	各80人
2	スターウォッチング教室(アウトリーチ)	団 体	4回	各30～150人程度
3	中秋の名月大観望会	幼児～大人	1回	300人
4	皆既月食観察会	幼児～大人	1回	300人
5	スターウォッチング in まちなか	幼児～大人	3回	各100人

(3) プラネタリウム学習教室

プラネタリウムホールで、小学4、6年生、中学3年生を対象に、学校で学習する天文領域の学習を補充、深化できるような授業を行う。さらに、天文分野の学習に困難を感じている子どもたちへの理解を深める機会とし、天文に関する興味・関心を高め、知識の普及を行う。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	プラネタリウム親子学習教室①	小学4年生	2回	各240人
2	プラネタリウム親子学習教室②	小学6年生	1回	240人
3	プラネタリウム親子学習教室③	中学3年生	1回	240人

3 プラネタリウム事業

星や星座、天体現象に関する解説を行い、各種番組を充実させることで、天文・宇宙に対する認識を深めてもらうとともに、宇宙への夢とロマンを提供する。

また、全天周投映システムによる各種コンサート等の演出を工夫することで、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムホールの有効活用を図る。

(1) 番組投映

① 学習番組

対象区分	番組名
幼児	「オズのまほうつかい」(永)、「ピーターパン」(永)
小学生	「スタジオ444」(永) [小4] 「ポワンとフーニャンの宇宙調査隊」(永) [小6]
中学生	「この空に願いをこめて…」(永) [中3]
一般	「DARK」(永)、「宇宙への旅」(永)、「宇宙への第一歩」(永)、「太陽」(永)

② 一般番組

対象区分	番組名
ファミリー	【新番組】「ムーミン谷のオーロラ」、【新番組】「オーロラ」、【新番組】「星の降る夜に」、【新番組】「ジュラシック・ヒーローズ」、【新番組】「カラフル太陽ツアー」、「名探偵コナン3」、「宇宙兄弟」、「クレヨンしんちゃん」、「こぐま座のティオ」、「DARK」(永)、「宇宙への旅」(永)、「宇宙のエネルギー」(永)、「太陽」(永)、「アマテラス」(永)、「星になったチロ」(永)、「今夜、銀河の片隅で」(永)、「むしむし星空大行進」(永)、「ピーターパン」(永)

※ (永) = 永久投映権を有する番組

③ 自主制作番組

「ひむか神話 ～太陽の女神・アマテラス～」(令和2年9月リメイク版)

(2) コンサート

コンサート名		対象	実施時期(予定)
みんなでキラキラ	(こどもの日スペシャル)	幼児～大人	4月30日(土)
星空コンサート	(クリスマススペシャル)	幼児～大人	12月24日(土)

星空と音楽のタベ	(Part 1 2 4)	中学生～大人	7月2日(土)
	(Part 1 2 5)	中学生～大人	9月17日(土)

(3) その他

イベント名		内 容	実施時期(予定)
星空さんぽ in プラネタリウム		一般投映とはちょっと違った思考を凝らした大人向けの投映で、星座等の世界に浸れる50分間の星空生解説を行う。解説後はミニ観望会を行う。	7月30日(土)、31日(日) 11月26日(土) 【3回】
キッズウィーク	えほんの読み聞かせ in プラネタリウム	ドームに絵本を大きく投映し、ボランティアの朗読とともに絵本の読み聞かせを行う。	奇数月 第2水曜 【6回】
	キッズアワー	プラネタリウムホールを明るめに設定し、幼児向けの星空解説をライブ解説と映像を合わせて行う。また、幼児向けの番組投映を行う。	6月、10月、12月、2月 第2水・土・日曜

4 イベント事業

あらゆる世代を対象に、科学に関する興味・関心を高めるイベントや環境問題など、社会の変化に対応した身近なテーマを取り上げた各種イベントを主催や共催により行う。

(1) 主催事業

No.	イベント名	内 容	実施時期
1	【新規】 ドローン操作体験教室	ドローンを初めて操作する子どもたち等に向けて、操作体験教室を開催し、ドローンが左右上下等に飛行できる科学的原理を理解するとともに、ドローンを楽しく飛行させる機会を提供し、日常生活での活用状況を知る。	7月24日(日) 8月21日(日) 【2日間】
2	【新規】 オーロラ写真展	オーロラ写真家である中垣哲也さんに写真データを提供いただき、写真展を開催する。中垣さんは全国のプラネタリウムでオーロラに関する講演会等も行っている方で、写真展に合わせ、講演会(星空さんぽ特別編)も行う。	7月23日(土) ～8月24日(水)
3	【新規】 《35周年記念事業》 企画展「プログラミング体験&ドローンサッカー体験」	4月に2日間、ドローンサッカー操縦体験イベントを行う。7月にプログラミング体験教室(レベルアップ3日間継続受講&単発受講3日間)を開催する。 また、夏休み期間中のお盆の時期2日間で、ドローンサッカー大会を開催する。	ドローンサッカー操縦 4月2日(土)・3日(日) プログラミング教室 7月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝) ドローンサッカー大会 8月13日(土)・14日(日)

4	【新規】 《35周年記念事業》 企画展「サイエンスお 化け屋敷」	夏休み期間中にマッチングした企画 展であり、宮崎科学技術館としての話題 性もある「立体視の仕組み」、「恐怖心の 正体」など、科学的な探求ができる。ま た、SNS 映えする記念撮影スポットを設 け、来館記念写真を撮る企画も合わせて 設置する。	7月23日（土） ～8月24日（水）
5	【新規】 《35周年記念事業》 ソラマルシェ	若年層をはじめ、幅広い世代の集客 を、「朝市」のような”マルシェ”を企画 して行う。また、マルシェのテーマを 「空」とし、美術・芸術などの他分野か ら天文分野への興味・関心につなげてい く。	10月8日（土） 9日（日） 【2日間】
6	【新規】 《35周年記念事業》 かず先生のサイエン スショー	九州サイエンスラボから、著名な石橋 一樹先生（かず先生）を講師として招聘 し、サイエンスショーを実施する。多種 多様な内容のサイエンスショーを通し て、子どもはもとより、大人も楽しみな がら科学に親しみ、科学現象を学ぶ機会 とする。	7月31日（日） 10月9日（日）
7	《35周年記念事業》 スターフェスティバ ル	宇宙開発が進む中、探査機や人工衛星 の技術として「おりがみ」が世界の注目 を集めている。そこで”おりがみ”をテ ーマにした解説パネルや資料を展示し て、啓発に努める。また、おりがみ技術 の試験機ともいえる”イカロス”の開発 にも携わったはやぶさ2プロジェクト チーム主任研究員でもあり、宮崎県出身 の三舩氏を講師として招聘し、講演会を 実施する。	10月22日（土） ～11月20日（日）
8	自然と暮らしに優し いエコフェア	みやざきエコの会の協力を得て、環境 問題を解決するための科学技術に関す る実験・工作教室等を実施することによ り、環境問題への関心を高め、科学技術 への理解を深める。	6月4日（土） 5日（日）
9	見てみよう！科学技 術映像祭	展示物「4K 有機 EL テレビ」の活用を 図るとともに、科学技術映像祭の入選作 品を上映することで、科学技術について 興味・関心を高める機会とする。	7月23日（土） ～8月24日（水）

10	博学連携推進事業 教員のための博物館 の日	博学連携の充実を図るために、学校の先生方に、各館に親しみをもってもらふこと、各館の学習利用や貸出資料など、学校支援について知ってもらうことをねらいとして開催する。	8月4日（木）
11	ナイトミュージアム	夜間を効果的に使った演出とプログラムを準備し、科学館の面白さの再発見と、科学現象や科学技術に対する興味・関心を高める機会にする。	12月17日（土） 12月24日（土）
12	南極クラス及び氷贈呈式	越冬隊の方の講話を通して、極地での生活や自然環境についての関心を高め、地球環境を学ぶ機会とする。また、南極の氷を贈呈してもらい、氷に触れたり、簡単な実験を行ったりする。	7月3日（日）
13	青少年のための科学の祭典2022宮崎大会	科学事象の不思議さや楽しさを体験できる実験ブースを多数用意し、体験を通して科学に対する興味・関心を高める。 ※プラネタリウムを除いて入館無料	8月6日（土） ～7日（日）
14	令和4年度 宇宙画作品展	県内の小・中学校から宇宙に関するテーマに沿った絵画を募集し、入選作品を展示する。最優秀賞を受賞した作品は全国の作品展に出展する。銀賞以上の受賞者の表彰式を行う。	11月19日（土） ～12月11日（日） 表彰式 12月11日（日）
15	ゴールデンウィーク イベント こどもの日 無料開放日	鯉のぼりを正面玄関付近に設置するとともに、サイエンスショーや工作教室等を実施する。多くの子どもたちに科学に親しんでもらうために、こどもの日は施設を無料開放とする。	4月29日（金・祝） ～5月5日（木・祝）
16	敬老の日 無料開放日	高齢者と家族が楽しく過ごす場を提供するために、全館入館無料でプラネタリウムの投映や工作教室及び実験ショーを行う。	9月19日（月・祝）
17	「名月展」 中秋の名月大観望会	市民の天文分野の普及啓発のため、中秋の名月に合わせて、観望会と月の魅力を紹介するパネル展を行う。	9月9日（金）～ 10月10日（月・祝） 観望会 9月10日（土）

18	皆既月食観察会	科学技術館周辺にて、皆既月食を、望遠鏡を使って観望する。	皆既月食観察会 11月8日（火）
19	各種団体事業	団体：宮崎少年少女発明クラブ 小・中学生に創作活動の場を提供し、科学的な興味・関心を高めるとともに、ものづくりの喜びを体得させる。	通年 【20回】

（2）共催事業

No.	イベント名	内 容	実施時期
1	航空教室 (航空大学校主催)	小・中学生を対象に、空を飛ぶことについての正しい知識をもってもらうことを通して、航空思想の普及啓発を図る。	7月23日（土） 2月 4日（土） 【2回】
2	宮崎地区サイエンス コンクール展 (みやざき科学技術人材育成推進委員会主催)	宮崎地区（1市2町）の小・中学生、高校生の理科の自由研究に関する作品展を行うことを通して、科学技術への興味・関心を高める。	8月27日（土） ～9月4日（日）
3	宮崎県発明くふう展 (宮崎県発明協会主催)	創造力に富む人材の育成と発明の奨励を図るとともに、その実用化を促進し、科学技術に対する意識の高揚と本県工業の発展に寄与する。	10月14日（金） ～16日（日）
4	宮崎市中学校書写展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による毛筆・硬筆の作品を展示し、中学生や関係者の科学館利用を図る。	10月25日（火） ～11月6日（日） 1月11日（水） ～22日（日）
5	「命の科学」フェア	「医学」の面から、「命」について科学的、体験的に考えられる場を提供し、自分の体を知り、健康への意識を高める。また、防災グッズも展示し、災害への認識、防災意識の高揚、その啓発を図る。	7月10日（日）
6	はまゆう会 コズミックカレッジ	宇宙をテーマにした実験を通して、科学の楽しさ、不思議、感動を与える科学の芽を育む。	9月4日（日）

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

- (1) 幼稚園・保育園、小・中学校、高校、大学、企業との連携を通して、展示事業や各種イベント等の充実と、相互補完体制を築き、子どもたちの「科学する心」や「創造性」を育むよう努める。
- (2) 天文愛好者との連携による天文教室や天体観望会、世界最大級のプラネタリウムの積極的な活用による各種イベント及びコンサート等の開催を通して、市民の天文科学への興味・関心を高める。
- (3) J S C (ジョイフル・サイエンス・クラブ)、宮崎科学技術館運営ボランティア、宮崎大学教育研修生(チャレンジサイエンス等の支援)との連携により、来館者への案内サービスの充実に努める。

6 その他

(1) 学校連携

令和3年度に新たに作成した小・中学校における学習指導要領と展示物を関連付けた「授業に使える展示物～校外学習・出前講座等を充実させるガイドブック～」の利活用を図るために、学校との連携を更に推進する。具体的には、市小・中学校教職員初任者研修及び理科研修や本館主催の研修において、学校連携・教育支援調整監が指導者となり、授業等で活用できる展示物の説明や実験・観察等の紹介を行う。

(2) モバイルガイドシステムの導入

外国人及び障がいのある方々が利用しやすい環境を構築するため、展示物の多言語化を図り、紙媒体での展示解説文だけでなく、来館者自身が所持しているスマートフォンやタブレット端末に多言語表記をはじめ、外国語音声案内や日本語音声案内ができるシステムを導入する。

(3) 広報の充実

ホームページやSNSを活用し、広報の充実に努める。

(4) 売店事業の円滑な運営

来館者へのサービス向上を図るため、売店の円滑な運営・充実に努める。

(5) 他館との連携

協会が管理する他施設との連携により、イベントに合わせた天体観望会を実施する。

令和4年度 宮崎市歴史資料館 事業計画書

基本方針

宮崎市歴史資料館は3館で構成され、宮崎市生目の杜遊古館は、出土品の整理、保管、展示のほか、市民に生目古墳群や埋蔵文化財・史跡公園等を活かした体験機会を提供するため、平成21年に史跡生目古墳群に隣接して建設された。宮崎市佐土原歴史資料館は、史跡佐土原城にある鶴松館（H5年開館）と商家資料館「旧阪本家」（H13年開館）から成り、佐土原地域の歴史や文化財等の資料の収蔵・展示を行っている。また、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館は、高岡地区の桜の名所、天ヶ城公園内に平成5年に建設され、高岡地域の歴史・民俗に関する資料の収蔵・展示を行っている。

宮崎市佐土原歴史資料館と宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の開館日は限定されており、地域との連携や要望に対応するため、宮崎市生目の杜遊古館への事務管理の集約と職員相互の連携を円滑に行い、3館ともに充実した資料館の運営を目指す。

なお、令和元年度末に閉館したみやざき歴史文化館の機能が移管された宮崎市生目の杜遊古館では、新たに宮崎の通史や重要文化財を展示する新展示室が追加され、施設内容の充実とともに、これまで培った経験を十分に活かしながら、来館者の方々が学び、心から喜んでいただける施設運営を心がけたい。

そこで、「宮崎市歴史資料館3館」は、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために事業を展開していき、管理運営の基本方針を次の3つとする。

- 〈基本方針1〉宮崎の考古、歴史、民俗等に関する調査及び研究、展示、講座などをおとして、ふるさとのあゆみについての興味・関心を高め、郷土愛を育む。
- 〈基本方針2〉地域の関係機関・団体と連携し、歴史文化の拠点施設として、地域資源の調査・研究並びに活用・発信をおとして地域づくりに寄与する。
- 〈基本方針3〉コスト管理に基づいた効率的な施設運営をより一層推進する。

事業概要

1 展示事業

常設展示では、各館の歴史的背景、地域の特色等を踏まえ、展示物の入れ替えや、解説方法を工夫し、利用者が宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能等を楽しく学習する場を提供する。また、企画展示では収蔵資料を活用し、地域特性も考慮しながら、様々な年齢層に興味を持っていただけるようにする。

2 講座・体験学習事業

専門家による古文書や埋蔵文化財・歴史文化講座、学芸員による歴史体験講座及び学習指導員等によるモノづくりやSDGsの趣旨を踏まえた体験学習など幅広く学べる内容とする。

3 イベント事業

遊古館デイキャンプなど、季節や地域の伝統を取り入れ利用者ニーズを踏まえたイベントを実施する。

4 授業支援・出前講座事業

各学校に出向き、収蔵する昔の道具を活用した小学校社会科の授業の支援、勾玉づくり体験などの出前講座及び回想法の趣旨を踏まえた資料の貸し出しなど年間を通じて実施する。

5 その他

新しい生活様式を踏まえた感染症拡大防止の対策を行う。ホームページやSNS等を活用した情報発信、年報・研究紀要による各種事業の普及広報活動の充実を図る。

【宮崎市生目の杜遊古館】

1 展示事業

(1) 常設展示

宮崎の考古・歴史、民俗に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

宮崎の歴史・文化に関連する資料を収集、調査研究し、企画展示室を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	【新規】 企画展① 「ブック・ブック！-いろんな 書物大集合-（仮）」	江戸時代から戦後にかけての地誌から漫画まで幅広い「ブック」を通して、歴史を身近に感じさせる。	令和4年10月～ 12月
2	【新規】 企画展② 「国富・綾の文化財（仮）」	宮崎市周辺の広域圏内である国富町と綾町に焦点を当て、それぞれの文化財を中心に展示、紹介をする。	令和5年1月～ 3月

2 講座事業

No.	講 座 名	内 容	回数	定 員
1	【新規】 みんなの考古学 講座	埋蔵文化財に興味関心を持っていただくため、専門家による考古学・最新の発掘調査の成果に関する講座を開催する。	5回	各50人
2	古文書講座 （初級、中級）	古文書解読の講座を、初心者向けとさらに勉強したい方のための中級者向けを開催し、受講者の探究心を高める。	初級3回 中級5回 計8回	各30人
3	歴史文化講座	色々な分野で専門的な知見を持つ講師を毎回招いて、宮崎の歴史事象や文化財、並びに日本文化等に関する講座を開催する。	10回	各50人
4	わくわく学芸員講座-歴史を学ぶ小物づくり-	伝統的なモノ作りを通して、一般向けに気軽に参加できる講座を開催する。	4回	各15人

3 体験学習事業

昔の人々の暮らしと関連した体験学習の実施を通じて、その意義をひとつの文化の伝承であると捉え行う。

また、団体利用や個人・家族など少人数利用についても、創作活動等の体験学習を通じて青少年の心身の健全な育成を図れるよう、利用する方々の目的を達成できるような体験活動プログラムを企画して利用者へ提供する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
☆	【新規】 「レッツ！タイム ワープ in 遊古館」 ～発見!!昔の人は こんなにすごかつ た!～	農耕等の生産活動や歴 史・民俗学など、昔の 人々が辿った生き方を SDG s の理念に沿っ て体験しながら学ぶ (全5回)	全 5回	宮崎市、国富 町、綾町の小学 校4年生～6年 生20人	令和4年5月～ 令和5年2月
1	竹とんぼを作って 飛ばそう	昔ながらの遊び道具竹 とんぼを作って遊ぶ。	1回	子ども(5歳以 上)と保護者 30人	令和4年5月
2	石臼で粉をひこう	石臼を使って、きな粉 を作る。	1回	子ども(5歳以 上)と保護者 20人	令和4年6月
3	【新規】 革細工のコースタ ーづくり	革に模様などを刻印・ 着色し、オリジナルコ ースターを作る	1回	子ども(小学校3 年生以上)と保 護者・一般30人	令和4年6月
4	エコバックの草木 染め	草木染めでエコバック を染める。	2回	子ども(5歳以 上)と保護者・一 般30人	① 令和4年7月 ② 令和5年3月
5	竹馬を作って遊ぼ う	昔ながらの遊び道具、 竹馬を作って遊ぶ。	2回	子ども(小学校3 年生以上)と保 護者30人	① 令和4年8月 ② 令和5年2月
6	いにしえの鏡づく り	合金を使って、古代の 鏡を作る。	1回	子ども(小学生 以上)と保護者・ 一般30人	令和4年8月
7	藍染に挑戦	藍染液を使ってハンカ チを染める。	1回	子ども(小学3 年生以上)と保 護者・一般30人	令和4年9月
8	古代米を使った団 子づくり	古代米を使った団子を 作る。	1回	子ども(5歳以 上)と保護者・一 般30人	令和4年10月
9	【新規】 古墳ウォークラリ ーとカレーづくり	古墳ウォークラリーと カレー炊飯を行う。	1回	子ども(小学生 以上)と保護者 10組	令和4年10月
10	けん玉を作って遊 ぼう	昔ながらの遊び道具、 けん玉を竹で作って遊 ぶ。	1回	子ども(小学生 以上)と保護者 30人	令和4年11月
11	リースを作ろう	自然の素材(蔦・まつ ぼっくり等)を使っ て、リースを作る。	1回	子ども(5歳以 上)と保護者・一 般30人	令和4年11月
12	古代米で餅つきを しよう	古代米をついて、餅を 作る。	1回	子ども(5歳以 上)と保護者 30人	令和4年12月
13	ミニ門松でお正月	正月に飾られる門松を 作る。	1回	子ども(5歳以 上)と保護者・ 一般30人	令和4年12月
14	古代織りでコース ターを作ろう	古代の織り方でコース ターを作る。	1回	子ども(小学生 3年生以上)と 保護者20人	令和5年1月
15	古代米でぜんざい を作ろう	古代米を使って、ぜん ざいを作る。	1回	子ども(5歳以 上)と保護者 30人	令和5年1月
16	火おこしと飯盒炊 飯体験	まい切り式の火おこし をし、飯盒でご飯を炊 く。	1回	子ども(小学生 以上)と保護者 30人	令和5年3月

*土日祝日や夏休みは、勾玉・はにわ・土笛がつかれる個人体験も実施（当日参加可能）

4 イベント事業

イベント名	内 容	実施時期
こどもの日特別企画	館内紹介を兼ねた館内クイズラリー、及びカラー勾玉づくり等を行い、館の魅力をPRする。	5月5日(木・祝)
遊古館デイキャンプ	自然環境豊かな遊古館で、火おこしなどの古代体験や炊飯体験を行い、歴史への興味関心を高め、日没後は協会内2施設（科学館・学習館）の協力のもと、生き物採集や星空観望会を行う。	① 令和4年7月頃 ② 令和5年1月頃
みやざき生目古墳まつり 応援事業	史跡公園で実施される生目古墳まつりと連携し、館の事業紹介を兼ねた館内クイズラリー、勾玉づくり等を行い館の魅力をPRする。	みやざき生目古墳 まつり実施日 (11月頃)

5 授業支援・出前講座事業

総合的な学習の時間及び遠足等を活用した施設利用により来館した小学校に対し、授業の支援を行う。また、地域での歴史講座や竹細工作りなどの出前講座を年間通じて実施する。

6 資料活用による回想法連携推進事業

地域の方々から寄贈された昔の生活用品等を揃えた「回想法貸し出しセット」を用意し、福祉施設等に貸し出しを行い、関係団体との連携を図る。

7 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止事業

手指消毒用アルコールや自動検温装置の設置のほか、密を避けるために講座・イベントの定員数を内容に応じて調整するなど、来館者が安心して見学したり、講習へ参加したりすることができるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための措置を講じる。

(2) 資料収集・調査研究

歴史資料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(3) 資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行うほか、展示室の24時間の温湿度管理を行い、記録データを常に監視しながら歴史資料の展示に適した環境作りに努める。

(4) 他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

(5) 年報・研究紀要の発行

宮崎市生目の杜遊古館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の令和3年度事業概要及び、調査研究成果をまとめた「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

(6) 広報の充実

館の行事案内やホームページやSNS、市広報などを有効活用し、来館者増に努める。

また、昨年度作成した各展示資料等の解説シートの充実を図り、それに関連したグッズの製作、日向神話かるたの販売促進、並びに歴史資料館 3 館周辺の歴史・民俗・名産品を紹介する各館のマスコットキャラクターのスタンプラリーを継続して館の魅力を発信する。

【宮崎市佐土原歴史資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

佐土原地域の考古・歴史（特に佐土原藩の歴史）、民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

佐土原地域の歴史・文化・民俗に関連する資料を収集・借用し、鶴松館や商家資料館等を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	【新規】 企画展 「藩主の履歴書！」	佐土原藩主個人について、プロフィールやその代に起きた事件やエピソードなどを紹介する。	5月15日(日)～ 6月14日(火)

2 体験学習事業

昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習等を親子や一般参加者を対象に実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	お城で茶道体験	鶴松館で茶道指導者のもと、伝統的な茶道を体験する。	1回	子ども（小学生以上）と保護者・一般 20人	令和4年5月
2	お城で生け花体験	鶴松館で生け花の指導者のもと、伝統的な生け花を体験する。	1回	子ども（小学生以上）と保護者・一般 20人	令和4年6月
3	【新規】 佐土原の祭り	佐土原に伝わる祭りを中心とした庶民の文化を紹介する。	1回	小学校5年生以上（小学生は保護者同伴）20人	令和4年7月
4	佐土原の玩具	佐土原の郷土玩具であるうずら車の絵付け体験をする。	1回	子ども（小学生以上）と保護者・一般 20人	令和4年9月
5	【新規】 町中の史跡を巡る	日講上人、古月禅師、野田仙光院の紹介と関連ある史跡を巡る。	1回	小学校5年生以上（小学生は保護者同伴）30人	令和4年10月
6	お城で音楽鑑賞	鶴松館で十三夜の月を愛でながら、伝統楽器である篠笛や琴の演奏を聴く。	1回	子どもと保護者・一般 30人	令和4年10月
7	佐土原人形の絵付け体験	佐土原人形製作者の指導で、絵付けを体験する。	1回	子ども（小学生以上）と保護者・一般 20人	令和4年11月
8	【新規】 神社・仏閣巡り	バスを使い巨田神社、吉祥寺、久峰観音等を訪ね佐土原の神社仏閣を知る。	1回	小学校5年生以上（小学生は保護者同伴）25人	令和4年12月
9	【新規】 佐土原城を散策する	戦国時代の山城の形状をなす佐土原城の登城路を散策する。	1回	小学校5年生以上（小学生は保護者同伴）20人	令和5年1月

3 イベント事業

イベント名	内 容	実施時期
佐土原花しょうぶ祭り (共催事業)	鶴松館に隣接する花しょうぶ園の開花時期の祭りに合わせ、花しょうぶ観賞のためのイベントを実施する。	令和4年6月
神代独楽回し大会	佐土原の伝統的工芸品の神代独楽を使い、大人と子どもの部門別に独楽の回っている時間を競う。	令和4年6月

4 学習支援（施設見学・出前講座）

展示物や資料を活用した授業支援として、総合的な学習の時間及び社会科等、各学校の要望に沿いながら、施設見学や出前講座を実施する。

また、要望に応じ小学校教師向けに佐土原の歴史講座を開催する。

5 その他

（1）新型コロナウイルス感染症拡大防止事業

手指消毒用アルコールを設置するなど、来館者が安心して見学したり、講習へ参加したりすることができるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための措置を講じる。

（2）資料収集・調査研究

古文書史料や文化財等の収集・調査研究を行い資料の充実を図る。

（3）資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行うとともに、必要に応じた薬剤燻蒸を実施し、歴史資料に適した環境作りに努める。

（4）広報の充実

ホームページやSNSを有効活用し、来館者増に努める。また、地域づくり協議会等とも連携をとり広報等に努めていく。

（5）他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

【宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

高岡地区の考古・歴史、民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

高岡地区の歴史・文化に関連する資料を収集、展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	【新規】 企画展 「何が起きた！？地域の のヒストリー展」	高岡や周辺地域ゆかりの貴重な紙資料（古文書等）について、わかりやすく解説・展示を行い、地域の歴史を広く紹介する。	令和5年 3月15日(水) ～4月16日(日)

2 体験学習事業

昔から行われてきた人々の暮らしと関連した製作体験や歴史・美術等の体験学習を親子対象に実施する。（一部一般も対象）

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	昔懐かしいお菓子づくり	昔から家庭で作られていたお菓子を作る。	1回	子ども（5歳以上）と保護者・一般15人	令和4年5月
2	天ヶ城で弓矢づくり	竹を利用して弓矢を作り、的当て遊びをする。	1回	子ども（小学生以上）と保護者 15人	令和4年6月
3	天ヶ城で水鉄砲づくり	竹で水鉄砲を作って遊ぶ。	1回	子ども（小学生以上）と保護者 15人	令和4年7月
4	夏休み図画工作作品を作ろう	図画工作の様々な表現方法を体験し、工作作品を作る。	1回	子ども（小学1年生～小学4年生）と保護者 15人	令和4年8月
5	天ヶ城で凧づくり	和凧を製作し、大手門前広場で実際に揚げてみる。	1回	子ども（小学生以上）と保護者 15人	令和4年11月
6	天ヶ城でミニ門松づくり	正月にあわせて玄関を飾るミニ門松を作る。	1回	子ども（5歳以上）と保護者・一般20人	令和4年12月
7	二見家住宅でかまど炊飯体験	「二見家住宅」を利用して、昔ながらのかまど炊飯を体験する。	1回	子ども（小学生以上）と保護者 20人	令和5年2月

3 イベント事業

イベント名	内 容	期 日
高岡歴史かるたで遊ぼう	かるた遊びを通して、「高岡歴史かるた」を広く知っていただくとともに、地元高岡の歴史を学び郷土愛につなげる。	① 7月 ② 9月 ③ 10月 大会 11月
高岡麓のまちなみを歩こう	歴史的な建造物や文化財がある高岡町内の麓地区のまちなみを散策する。	令和4年10月

4 授業支援事業

施設に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「市のようにとくらしのうつりかわり」の授業の支援として各学校に出向き、学習の充実に資する。また、総合的な学習の時間及び遠足等を活用した施設利用により来館した小学校に対し、授業の支援を行う。

5 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止事業

手指消毒用アルコールを設置するなど、来館者が安心して見学したり、講習へ参加したりすることができるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための措置を講じる。

(2) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(3) 資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行うとともに、必要に応じた薬剤燻蒸を実施し、歴史資料に適した環境作りに努める。

(4) 広報の充実

ホームページやSNSを有効活用し、来館者増に努める。

(5) 他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

令和4年度 大淀川学習館 事業計画書

基本方針

大淀川学習館は、宮崎市制70周年記念事業として、次世代を担う子どもたちに、「自然を大切にする心」と「郷土愛」を育むために開設された施設であり、平成7年3月の開館以来、施設・設備の特性を最大限に活かす管理運営に努めてきた。

特に近年は、乳幼児や小学校低学年による低年齢層の利用が最も多い一方で、障がいのある方や高齢の方による利用も増えていることから、利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営が一層求められている。

今後も、より多くの方々に愛され、活用される施設となるよう、以下の3つの運営方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行う。

- 〈基本方針1〉 身近な素材を見て・触れて・体験しながら、次世代を担う子どもたちを中心に、全ての世代が「自然を大切にする心」と「郷土愛」を育むため、楽しく学ぶ機会を提供する。
- 〈基本方針2〉 関係する機関や団体と連携・協働し、広く市民に開かれた施設として、生涯学習、郷土学習、環境学習の場として、地域づくりに貢献する。
- 〈基本方針3〉 主に自然を扱った地域密着型の魅力ある事業を展開するため、職員が創意工夫を凝らし、教育的効果と費用対効果のバランスがとれた施設運営を行う。

事業概要

1 常設展示事業

「観察ステーション」では、企画展や季節に合わせた生体や標本等を展示し、「自然楽習園(チョウのへや)」等を活用して、飼育・採捕生体の展示を行う。また、「里山の楽校」等では、自然環境を再現した展示スペースと学習フィールドとしての二面性をもたせる維持管理を行う。さらに、月間スケジュールにより、「川のシアター」等の展示解説を実施する。

2 企画展・作品展示事業

自然環境及び生物に関することを中心に、当館の設立趣旨を具現化する8つの企画展を行う。また、「大淀川流域の動植物画コンクール」を開催し、応募作品の展示を行うとともに、「愛鳥週間」等の外部コンクールの作品展示も行う。

3 学校教育・生涯学習支援事業

小中学校や学童保育施設、自治会等の要請に応じて、出前講座や見学プログラム等による支援を行う。また、就学前教育を支援する一環として計20回の園児教室を実施する。さらに、学校教育に対しては、授業力向上講座の開催や資料の貸出等による指導者支援も行う。

4 教室・イベント事業

「水辺の教室」「里山の教室」の2分野に分けて講座を開設する。また、工作を中心とした定期イベント「わくわく工作」と、講演会を含む6つの「季節のイベント」を開催する。

5 広報事業

ポスターやチラシ、ホームページ、SNSを活用して、生体情報の発信や各種事業の宣伝等を行う。また、広報誌やマスメディア等への情報提供も行う。

6 自主事業

飲食等に対する来館者のニーズに応えるため、3つの自主事業を行う。

7 その他

新型コロナウイルス感染症対策、SDGs（環境）教育を積極的に行う。

1 常設展示事業

(1) 生体等の展示

大淀川流域の多様で豊かな自然環境についての理解を促すため、大淀川流域に生息する昆虫や水生生物等の生体展示を行う。加えて、職員の専門性向上に努め、展示生体の多様性を維持する。

No.	展示スペース	内 容
1	観察ステーション	観察ステーションを中心に、来館者が常に新鮮な気持ちで館内見学を行えるように、企画展や季節に応じて定期的な展示入れ替えや装飾を行う。また、来館者が気持ちよく見学をすることができるよう、観察機器のメンテナンスや施設内の壁面等を活用した解説の充実に努める。さらに、学校教育への支援の一環として、学習指導要領との関連をふまえた展示の工夫も行う。
2	自然楽習園 (チョウのへや)	チョウの生態や特徴について、来館者が興味をもったり、知識を深めたりするため、主として学習館周辺を生息域とするチョウを、外気温に合わせた自然に近い状態で放蝶している。四季に応じたチョウの生態を観察することができる国内でも稀有な施設として、維持管理に努める。また、学校教育支援の一環として行う「チョウのプログラム」のフィールドとしても活用する。
3	生体展示ホール (サカナのへや)	大淀川流域の水生生物に対して、来館者が興味をもったり、知識を深めたりするために、大型水槽では、大淀川水系に生息する淡水魚を上流域、中流域、河口域ごとに展示し、円型水槽では、大淀川が流れ着く日向灘に生息している水生生物を展示している。小型水槽では、小型の淡水魚やカメなどを、個別に観察しやすいように展示している。また、絶滅危惧種アカメの飼育技術確立を進めている。
4	ホタル展示室 (ホタルのへや)	来館者が、環境保全のシンボリック存在であるホタルの生態に興味をもち、環境保全に対する意識を啓発するために、ビオトープ水槽を活用して、季節に応じたゲンジボタルの展示を行っている。市環境保全課等と連携して、飼育技術について改善を進めている。

(2) 自然環境を再現した展示（学習フィールド）

生き物が生息する環境への理解促進と興味喚起のため、本館周辺の施設を維持管理し、活用を図る。

No.	学習フィールド名	内 容
1	里山の楽校 (杉の家)	大淀川流域の自然や文化を育んできた里山を再現した学習フィールド「里山の楽校」の維持管理に努め、体験学習のフィールドや展示生体のための昆虫・植物採集の場として活用する。 また、付設の「杉の家」では、固定望遠鏡や地形を観察できる模型の設置、里山の動植物に関する展示等を行う。
2	大淀川 水辺の楽校	親水公園としての機能ももつ「大淀川水辺の楽校」については、宮崎市公園緑地課や国土交通省宮崎河川国道事務所等の関係機関と連携・情報交換を行いながら、活用、維持管理に努め、利用者が水辺の環境に親しむ場を提供する。 また、体験学習のフィールドや展示生体のための昆虫・植物採集の場としても活用する。

(3) 展示解説

見て・触れて・体験しながら、自然環境に対する興味関心を高めたり、知的好奇心を満たしたりすることができるように、大淀川流域の自然や文化、歴史等についての展示を解説する。加えて、週間スケジュールに基づいて、既設設備や職員の専門性を活かした効果的な展示解説を工夫する。

No.	展示名	内 容		実施時期
1	川のシアター	定時一般上映	平日・土日祝日通して1日3回、定時に大淀川流域の自然に関するオリジナルの3Dハイビジョン番組の上映を行う。 ※感染症の影響が無くなった場合は上映方法を検討する。	通年
		団体上映	利用団体の学習ニーズに応じて、番組を選択し、特別に上映する。	随時
		臨時上映	増加する来館者の要望に応え、当館の利用促進を図るために、平日も毎日4回上映する。 ※感染症の影響が無い場合に限る。	小中学校の長期休業期間(冬季を除く)
2	ミニ講座 (ミニミニ講座)	来館者が知的好奇心を満たすことができるように、企画展の内容や季節に応じた動植物について、職員が解説を行う。		通年
3	さかなたちの食事 タイム	来館者が河川の特徴や魚の生態に関する興味や関心を高めるため、大型水槽の魚が餌を食べる様子を公開する。命のある生き物を観察していることを実感できるように、季節や魚の体調に応じた解説に努める。		通年 【週2回】
4	いきものとのふれ あい&よみきかせ (絵本の読み聞かせ 音楽会)	幼い子どもが生き物と出会い、自然環境に興味・関心を抱くきっかけをつくるため、図書室にある絵本を読み聞かせし、絵本と関連した生体を見たり、触れたりする体験活動を取り入れた解説を行う。 また、音楽を取り入れた生き物や自然に関する読み聞かせを不定期で開催する。		通年 【月1回】

2 企画展・作品展示事業

(1) 企画展

大淀川流域の自然環境や歴史、文化について、興味・関心を高めるため、当館の基本方針に沿った企画展を開催する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	「春の芽吹きを感じよう！春の彩り展」	春休み期間中の子どもたちが、春に芽吹く植物等を観察する機会を設けるために、野草を中心とした春の植物の展示を行う。	令和5年 3月18日(土) ～ 令和5年 4月9日(日)

2	「水の生き物と仲良くなろう！ザリガニ展」	来館者が、身近な生物と触れ合うよさを感じたり、在来種と外来種の関係について学んだりする。自然環境について考えるきっかけにするために、アメリカザリガニの生体展示やパネル展示を行う。	4月26日（火） ～ 6月5日（日）
3	「カラー魚拓への誘い」	サカナの特徴について関心をもち、自然がもたらす造形美を実感するために、館内各所へカラー魚拓の展示を行う。	6月14日（火） ～ 7月10日（日）
4	「森の生き物と仲良くなろう！カブトムシ・クワガタムシ展」	子どもたちが昆虫に興味を抱き、自然科学を学ぶきっかけをつくるため、様々な生体や解説パネル展示等を行う。大淀川流域に生息する国内種と外国種を比べることができる教育的要素を加えた展示を行う。	7月16日（土） ～ 8月28日（日）
5	【新規】 「よく見てみよう！ちょっぴりこわい生き物&うんち展」	生命の存在価値や命の尊さについて考える契機とするため、一般的に嫌悪されたり、怖がられたりする生物や排泄物の展示や解説パネル展示を行う。	9月17日（土） ～ 10月30日（日）
6	【新規】 「身近な生き物と環境展」（仮）	金魚やメダカ、カメなど身近な水生生物と昆虫食の展示を、自然環境やSDGsの観点からめて展示する。	11月5日（土） ～ 12月11日（日）
7	「変身しよう！みんなの生き物アート展」	乳幼児期から親子で自然に親しむきっかけをつくることや、SNSの普及によるフォトスポット需要が高まっていることを受け、自然を感じつつ、写真撮影を通じた文化活動にも触れることができる機会を提供する。	12月20日（火） ～ 1月29日（日）
8	「春一番！ひな山展」	大淀川流域の綾町で育まれた「ひな山」文化を知り、大淀川流域の民俗文化に対する関心を高めるために、エントランスホールへ、ひな山の実物を展示する。	2月4日（土） ～ 3月3日（金）

（２）作品展示

大淀川流域の豊かな自然を再評価する中で、郷土に対する愛情を育み、市民が文化的活動に勤しむ機会を提供するために、作品展を主催する。また、県や市が主催するコンクールの入賞作品展についての展示依頼は、積極的に受け入れる。

No.	作品展名	内 容	実施時期
1	作品展 「第28回大淀川流域の動植物画コンクール」	動植物を観察する視点を育み、観察フィールドで、直に自然と触れ合う機会をつくるため、大淀川流域に生息する動植物の精密画を募集し、入賞作品を展示する。	10月1日（土） ～ 10月30日（日）

3 学校教育・生涯学習支援事業

(1) 出前講座・見学プログラム

小中学校や学童保育、自治会等からの要請に応じて、出前講座や見学プログラムを設定する。講座やプログラムの内容は、下記の主な見学プログラム以外に、事前打合せによって要望に応える内容を設定する。

No.	主な見学プログラム名	内 容
1	チョウの見学プログラム (学習室・実験工作室・自然楽習園)	小学校3年生「理科」の学習内容に基づき、職員による解説と、自然楽習園における観察を行う。
2	地層の見学プログラム (里山の楽校)	小学校6年生「理科」の学習内容に基づき、職員による解説と、露頭（地層）の見学や装置を用いた堆積実験等を行う。

(2) 園児教室

宮崎市及び国富町・綾町の幼稚園、保育所等の園児を対象に、動植物の観察やふれあい体験、工作活動を通して生き物に対する関心を高める。

(11月～2月の期間に20回開催)

(3) 指導者支援

学校における理科教育の充実を図るため、具体的な指導方法や教材準備の仕方等について、小中学校の指導者向けに職員の経験と専門性を活かした支援を行う。また、必要に応じて資料提供も行う。

No.	講座名	内 容	定員	実施時期
1	授業力向上 チョウ講座 (実験・工作室)	チョウの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	各15人	4月14日(木) 4月28日(木)
2	授業力向上 メダカ講座 (実験・工作室)	メダカの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	15人	5月27日(金)

(4) その他の支援

キャリア教育を支援する一環として、中等教育における職場体験学習や、高等教育におけるインターンシップ、博物館実習等も積極的に受け入れる。さらに、行政機関における環境部局等から要請があった際には、共催企画を積極的に受け入れる。

4 教室・イベント事業

(1) 水辺の教室

大淀川流域の水質や水生生物など水辺の環境について興味をもち、理解を促すため、実験や観察、体験を伴う講習を行う。

No.	教室名(開催場所)	内 容	定員	実施時期
1	アユの稚魚を 放流しよう! (柳瀬橋下河原)	アユの稚魚を大淀川に放流する体験を通して、大淀川の魚や環境に親しむ。	20組	5月8日(日)
2	ホタル環境教室 (実験・工作室)	実際にゲンジホタルの成虫を観察することを通して、ホタルの生態を理解する。	20組	5月14日(土)

3	川の生き物で水質 環境調査(春・夏・秋) (水辺の楽校)	水生生物を指標とする水質調査を通して、大淀川の水質に対する理解を深める。	各5組	5月22日(日) 5月29日(日) 7月17日(日) 10月9日(日)
4	カラー魚拓を 制作しよう！ (実験・工作室)	カラー魚拓を制作することを通して、魚の体のつくりなどを観察し、大淀川にすむ魚に親しむ。	10人	7月3日(日)
5	自由研究にぴったり！ 下水処理場見学会 (上下水道局施設)	宮崎市上下水道局と連携し、関連施設を見学することを通して、水の大切さを理解する。	20組	7月28日(木)
6	メダカの 飼育・観察教室 (実験・工作室)	メダカの飼育の仕方を学習し、生体の観察を通して、身近な魚への興味・関心を高める。	各10組	5月28日(土) 9月18日(日) 9月19日(月・祝)
7	水を浄化してみよう！ (実験・工作室)	ペットボトルろ過器の作成を通して、水道水のろ過や水環境の大切さについて知る。	各5組	8月11日(木・祝) 8月13日(土)

(2) 里山の教室

大淀川流域に生息する動植物や生息環境、自然の恩恵について興味をもち、理解を促すため、採集や観察、体験を伴う講習を行う。

No.	教室名(開催場所)	内 容	定員	実施時期
1	目指せ！ムシはかせ (水辺・里山の楽校) (7回の内、5回は夜間)	水辺の楽校や里山の楽校においてライトトラップ等により採集した昆虫の同定作業を通して、昆虫採集や飼育、観察への興味・関心を高める。なお、第1回はミツバチに特化した教室を行う。	各5組	4月24日(日) 5月28日(土) 6月18日(土) 7月16日(土) 8月27日(土) 9月17日(土) 3月12日(日)
2	生き物の集まる植物を植 えよう！ (第2食草園)	自然楽習園に植栽する食草・蜜源植物の植え付けを体験し、昆虫の生態について理解する。	5組	6月5日(日)
3	カブトムシの幼虫を育て よう！	カブトムシの幼虫の飼育の仕方を学習し、その生態を観察することを通して、昆虫飼育への興味・関心を高める。	10組	4月16日(土)
4	初めてのカブトムシ・ク ワガタムシ飼育教室 (レクチャー室)	カブトムシ・クワガタムシの飼育の仕方を学習し、その生態を観察することを通して、身近な昆虫への興味・関心を高める。	10組	6月19日(日) 7月9日(土) 9月11日(日)
5	昆虫標本を 作ろう！ (実験・工作室)	身近にいる昆虫を使った標本を作ることを通して、昆虫を記録する方法について知る。	10組	6月26日(日)

6	植物標本を 作ろう！ (実験・工作室)	標本作製の講義と演習を通して、身近な植物を記録する方法について知る。	10組	7月24日(日)
7	ハーブティーを 楽しもう！ (杉の家)	ハーブの育て方や楽しみ方を体験して、植物の利用方法や効用について理解する。	20人	10月16日(日)
8	野鳥の巣箱を 作ろう！ (実験・工作室)	野鳥の巣箱を作ることを通して、野鳥の生態や森林保護の必要性を知る。	10組	11月6日(日)
9	ミツロウでオリジナルキャンドルを作ろう！ (実験・工作室)	ミツバチの巣から採ったミツロウを用いて、自分だけのオリジナルキャンドルを作ること、自然の恵みを有効に活用する方法を知る。	10組	12月18日(日)
10	シイタケの種駒 打ちをしよう！ (里山の楽校)	シイタケの種駒打ちを体験して、里山やキノコに対する理解を深める。	20組	2月26日(日)
11	食べられる野草 を探してみよう！ (水辺の楽校)	水辺の楽校にある食用、薬効のある植物を採集することを通して、身近な野草に親しむ。	20組	3月19日(日)

(3) わくわく工作

大淀川流域の自然や文化を理解し、参加者の文化的活動を促進する機会を設けるために、四季の移ろいや大淀川流域の自然・文化をテーマに設定して、家族で楽しみながら創作を行うイベントを、毎月第1土曜日の午前を基本に、祝日や小中学校の長期休業日に合わせて、年間16回開催する。(他事業との日程調整において一部実施日が変更になるものもある。)

(4) 季節のイベント

大淀川学習館の利用を促進することで、家族で大淀川流域の自然について学んだり、環境に対して関心を寄せたりする機会を増やすために、楽しみながら季節や文化を感じることができるイベントを開催する。

	イベント名	内 容	対象・定員	実施時期
夏	カブトムシの 木登り大会 (レクチャー室)	飼育しているカブトムシを持ち寄り、木登りの速さを競う。	先着事前申込 午前・午後 各16人	7月30日(土) 予備日8月6日(土)
夏	クワガタムシの すもう大会 (レクチャー室)	飼育しているクワガタムシを持ち寄り、すもうで競う。	先着事前申込 午前・午後 各16人	7月31日(日) 予備日8月7日(日)
秋	河川や動植物等 に関する講演会 (レクチャー室)	当館のネットワークを生かし、河川や動植物に関する専門家、または当館職員による講演会を行う。	先着100人	11月23日(水・祝) ※予定
冬	ふれあいもちつき大会 (本館池周辺)	古来より正月を迎える準備として行われてきた、日本の伝統文化もちつきを楽しむ。	全来館者 なくなり次第	12月17日(土)

春 ～ 秋	どきどき体験 けん玉名人になろう！ (レクチャー室)	古くから親しまれる日本の伝統的な遊びである「けん玉」に親しむ。	各回 50 人	5 月 21 日(土) 7 月 16 日(土) 9 月 17 日(土) 11 月 19 日(土)
冬	クリスマスコンサート i n 大淀川学習館 (レクチャー室)	周辺中学校の音楽系部活動と連携し、生き物の話等を交えたコンサートを行う。	先着 150 人	12 月 25 日(日)

(5) 教室・イベント事業共通事項

(1)～(4)の教室やイベントを計画するに当たっては、関係行政機関や専門家、協会内の他館等との連携に努める。

5 広報事業

(1) 情報の発信及び提供

大淀川学習館の活動内容を周知し、主催事業への参加や見学に対する意欲を喚起するために、情報発信の工夫を行う。また、事業案内や調査研究の成果については、積極的な情報提供を行う。

No.	広報活動名	手 段
1	年間行事 カレンダー	小中学校を対象に、校外学習での活用や休日の家族利用を促進するため、紙媒体による広報を行う。
2	月行事案内 企画展案内	福祉施設の利用促進や社会教育施設間の回遊性を高めるために、月行事や企画展の案内チラシとポスターを配布する。
3	ホームページ	ニーズに応じた情報提供を行うために、インフォメーションと学習機能を兼ね備えたホームページを運営する。
4	ソーシャルネットワー キングサービス	公開する情報の即時性を高めるために、ブログやフェイスブック、インスタグラムの定期的な更新に努める。
5	掲示板・案内板	来館時に情報を得ることができるようにするため、掲示板や案内看板の活用も図る。
6	マスメディア	展示生体の変化や特徴などについて、広く市民への理解を促し、自然環境への興味を喚起するために、マスメディアへの情報提供に努める。

6 自主事業

(1) 自動販売機等の設置

飲食物の提供や記念品の購入など、来館者のニーズに応じるために、自主事業を行う。

No.	自主事業名	内 容
1	飲料自動販売機	夏場の熱中症対策を含めて、来館者から飲料に対する要望があることから、飲料自動販売機を設置する。
2	カプセル自動販売機	特に観光目的の来館者から要望が強いことから、記念品として企画展や展示生体と関連のあるカプセルトイの自動販売機を設置する。

3	移動販売車	施設周辺に商店や飲食店が少ないため、来館者から昼食や間食に適した軽食への要望が強く、宮崎フードイベントサポート協会の協力を得て、土日祝日及び小中学校の長期休業期間に移動販売車を招聘する。
---	-------	---

7 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止事業

非接触型自動検温器、ウイルス除去対応型空気清浄機、手指消毒用アルコール等を設置するなど、来館者が安心して見学したり、イベントへ参加したりすることができるよう、新型コロナウイルス感染症防止対策を行う。

(2) SDGs 達成（環境教育）のための取組

① SDGs ロゴの活用

SDGs の普及、啓発のため、入館者やイベント参加者の目にふれるよう、右のSDGs ロゴを添付活用する。添付は、街頭看板、チラシ、ホームページ等に行い、できるだけ多くの方への啓発を図る。



② SDGs と各企画展・教室等の関連推進

自然環境保護等に関連がある企画展や各種教室事業等において、SDGs に関する話題を盛り込み入館者や参加者への啓発を行う。

(令和4年度の主な関連事業)

No.	企画展・イベント名	実施時期・期日
1	水の生き物と仲良くなろう！ザリガニ展	4月26日(火)～ 6月 5日(日)
2	身近な生き物と環境展(仮)	11月 5日(土)～12月11日(日)
3	川の生き物で水質環境調査(春・夏・秋)	5月22日(日)、5月29日(日) 7月17日(日)、10月9日(日)
4	水を浄化してみよう！	8月11日(木)、8月13日(土)
5	河川や動植物に関する講演会	11月23日(水・祝)※予定
6	大淀川や生き物に関する出前講座	依頼により通年実施

令和4年度宮崎市民プラザ事業計画書

1. 管理運営について

指定管理期間の4年目を迎え、指定管理者指定申請時の事業計画を着実に履行するとともに、管理運営にあたっては、地方自治法や宮崎市民プラザ条例をはじめとする関係法令、平成30年度からスタートした第五次宮崎市総合計画や第二次宮崎市教育ビジョン、第三次宮崎市文化振興計画などとの整合を図る。また、市との密接な連携のもと、施設の設置目的に沿った管理運営と事業の充実に努め、次のとおり本施設運営のための基本方針を定める。

新型コロナウイルス感染症に関しては、新しい生活様式を踏まえた感染拡大防止のためのガイドライン等に基づく取り組みを行っていく。

基本方針1：公平・公正な管理運営

宮崎市民プラザ条例及び同条例施行規則等を遵守の上、当協会の責任と判断により、特定の個人や団体に対して有利あるいは不利になるような取り扱いをせず、偏りのない平等で適正な管理運営に努める。

基本方針2：満足度の高い管理運営

市民や施設利用者の意見・要望等を管理運営に反映させるとともに、施設利用者には利用者目線でアドバイスやサポートを行うことで、満足度の高い管理運営に努める。また、定期的な接遇研修の実施により利用者に対する接遇能力を高め、利用者の満足度向上に繋げる。

基本方針3：安心・安全で効率的な管理運営

非常時に備えた定期的な防災訓練や研修を踏まえ、施設内の巡回や設備の日常点検、利用者に注意を促す掲示等により未然防止を図る。更に、万一の災害時・緊急時には、危機管理体制に基づき、その対応に万全を期し、利用者の安全確保を図る。また、業務等の効率化を積極的に行うことで、無駄のない管理運営に努める。

2. 文化芸術企画事業について

市民プラザ条例における設置目的や文化芸術基本法、劇場法、第三次宮崎市文化振興計画、宮崎市文化芸術基本条例などの国・自治体の文化行政の理念及びその方向性、更には地域の文化芸術資源などを反映させ、独創性の高い事業を企画・実施し、市民文化活動及び文化芸術の振興に寄与する。特に、第三次宮崎市文化振興計画において、重点プロジェクトに位置付けられている「若い世代へのアプローチ」と「文化芸術活動支援環境の整備」を柱に、次のとおり取組方針を定める。

なお、施設の改修・更新工事に伴いオルブライトホールを使用できない期間が生じますが、事業実施においては、これまでの経験や実績をもとに柔軟に対応していく。

新型コロナウイルス感染症に関しては、感染状況に応じた入場収容率等を踏まえて柔軟に対応していく。

取組方針１：市民文化の振興

子どもから高齢者まで、幅広い世代にわたる市民に対して、気軽に文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供し、市民文化の振興を図る。

取組方針２：若い世代へのアプローチ

子どもや青少年などの若い世代に対して、インターネットやSNS等を活用して文化芸術の魅力を発信するとともに、文化芸術を鑑賞・参加・創造する機会を提供し、興味関心を高めるためのアプローチを図る。

取組方針３：文化芸術活動への支援

音楽や演劇、舞踊、伝統芸能等の市民の幅広い文化芸術活動については、一定条件のもと当協会と文化芸術団体等が共催し、施設使用料等免除のほか、ノウハウ等の提供や助言、広報及びチケット販売協力などにより支援する。

３．新型コロナウイルス感染拡大防止事業について

新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、消毒液や備品等用拭きタオルのほか、ハンドソープ・マスクなどに加え、空間除菌消臭装置や空気清浄機を導入し、新型コロナウイルス感染症に対応していく。

４．事業の概要及び実施時期について

No	事業名	内容	実施時期
取組方針１：市民文化の振興			
1	第16回 市民プラザコンサート 【創造・参加型事業】	市民参画による実行委員会が企画運営し、宮崎に縁のある演奏家やアーティスト等を出演者に起用する、橘公園噴水広場での屋外コンサート。	10月
2	市民プラザ寄席 歌春・昇太二人会 【鑑賞型事業】	宮崎出身で落語家の桂歌春さんがプロデュースする寄席。人気落語家の春風亭昇太さんとの二人会として、宮崎科学技術館プラネタリウムホールでのサテライト公演とする。	11月25日
取組方針２：若い世代へのアプローチ			
3	【新規】 演劇公演 「肉体改造クラブ」 【創造・参加型事業】	宮崎出身で劇作家・演出家の古城十忍さんが、高校生の等身大の問題を題材に演出し、主要キャストに現役の高校生を起用する演劇公演。	7月28日

4	夏休み！バックステージ体験 【普及・育成型事業】	小学生親子を対象とした、舞台機構や音響、照明設備等をツアー形式で見学・体験してもらうオルブライトホール舞台裏体験。	7月
5	桂 歌春の落語教室 【普及・育成型事業】	宮崎出身で落語家の桂歌春さんと宮崎の小学生が交流する機会を創出し、古典芸能の落語を身近に感じてもらう落語アウトリーチ事業。	未定
6	子どものための文化芸術体験プログラム 【普及・育成型事業】	子どもたちの文化芸術に対する関心を高めるとともに、心豊かな感性を育むため、演奏家や文化芸術団体等を小学校等へ派遣するアウトリーチ事業。	未定
7	子どものための音楽会 【鑑賞型事業】	乳幼児とその保護者に生の音楽を身近に感じてもらうとともに、乳幼児の情操を育むための様々なジャンルの生演奏にふれることのできる音楽会。	7月14日
8	1日子ども館長 【普及・育成型事業】	文化芸術への興味関心を高めるとともに、将来の職業選択のきっかけづくりを目的に、小学生を対象とした職場体験。	未定
取組方針3：文化芸術活動への支援			
9	Cantiamo! vol.1 ～歌を愛するすべての人へ～ 【共催事業】 主催：Cantiamo（カンティアーモ）	有名なオペラからアリアや重唱を抜粋して、解説をしながらオペラの魅力を紹介する公演。	6月18日

令和4年度公益財団法人宮崎文化振興協会事務局

事業計画書

基本方針

1 法人組織の円滑な運営

公益財団法人の円滑な運営のため、法や制度改正などを適切に処理し、評議員会・理事会などの法人組織の運営と関係機関・団体との連携及び調整に取り組む。

2 指定管理業務の円滑な推進

宮崎科学技術館、宮崎市歴史資料館（宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館）、大淀川学習館、宮崎市民プラザの6施設の指定管理業務の円滑な推進のため、経営会議などを通して、市並びに各施設との密な連絡調整を図る。

3 円滑な人事管理

採用、異動、給与、福利厚生、研修など協会職員の人事管理を円滑に行う。特に職員の健康管理への対応並びに資質向上のための研修に取り組む。

4 協会の目的達成のために必要な事業の推進

協会の目的達成のため、機関誌発行、協会モニター、子どものための音楽会など協会全体として行うことが効果的な事業の推進に努める。

また、協会が管理運営する教育施設について、効果的な学習利用の推進を図る。

事業概要

1 法人の管理運営事業

協会組織の円滑な運営のため、定時評議員会（6月）、定例理事会（6・3月）のほか、必要に応じて臨時会を開催する。

指定管理業務の円滑な運営のため、市並びに各施設と密な連絡調整を行う。

法人の総務・人事・財政に係る業務を適正に行う。

2 研修事業

職員の資質向上と能力開発のため、管理職研修や係長研修、接遇研修、広報研修に取り組む。また、昨年度に引き続き自ら事業を企画・立案・実行するスキルを向上させるために中堅層の職員を対象に、館を横断的につなぐ事業を研究のテーマにした研修（スキルアップ研修）を実施する。

3 健康管理事業

職員の健康管理のため、産業医による健康相談、健康をテーマとした研修会などを行う。

4 その他

理科授業に関し、授業づくりの助言や実験観察法の教授など、教員向けのサポートを行う。
協会全体として行うことが効果的な事業を行う。

経営戦略課主導事業

事業名	内 容	実施時期
【新規】 おうちミュージアム (共通アーカイブ)	スキルアップ研修の一環として、協会内の各施設が作成しているホームページ上に「おうちミュージアム」のページを作成し、動画コンテンツを定期的に配信することにより各施設の来館者増加を目指す。	4月～3月
理科の授業づくりサポート事業	宮崎市、国富町、綾町の小学校教諭を対象に要請のあった学校に出向いて、授業づくりへの助言や実験観察法の教授、出前授業等、理科授業全般への個別サポートを行う。	5月～2月
職員スキルアップ事業	職員の資質向上と能力開発のため、管理職研修や係長研修、接遇研修、広報研修に取り組む。また、昨年度に引き続き自ら事業を企画・立案・実行するスキルを向上させるために中堅層の職員を対象に、館を横断的につなぐ事業を研究のテーマにした研修（スキルアップ研修）を実施する。	通 年
学術・科学技術・文化・芸術振興のための研究事業	職員が日常業務の中で課題を見つけて、研究テーマを設定し、年間を通して課題解決に向けた研究を行うことで、職員の能力開発、資質向上を図る。 研究成果については、協会内で研究発表会を実施するとともに、研究報告書としてまとめ、関係機関等に配付する。次年度以降の業務改善につなげるとともに、協会の定款に定められた学術及び科学技術、文化及び芸術の振興に寄与する。	通 年
健康管理事業	職員の健康管理のため、定期健康診断のほか、産業医による健康相談、健康をテーマとした講習会などを行う。	通 年
宮崎文化振興協会主催 文化講演会	当協会が管理運営する施設の専門分野について、市民の興味関心を深めてもらうこと、また、各施設を横断的にPRする場を設けることを目的に、協会事務局主催の講演会を開催する。	未 定
機関誌「まなぶんか」発行事業	科学・歴史・自然・文化・教育等の視点によるトピックスや催事内容を利用者に詳しく紹介する協会機関誌を刊行することで、施設利用者増へ繋げる。 県内小中学校や県内市町村教育委員会、公民館等に加え、市内小児科医院・県内図書館・博物館・公立文化施設にも配布する。	年4回
協会モニター事業	施設利用者の意見を施設運営や事業に反映させることを目的に、協会モニターを公募し、各施設のモニタリングや意見交換会（年2回）を実施する。	通 年
子どものための音楽会事業	乳幼児とその保護者に生の音楽を身近に感じてもらうことを目的に、各施設において乳幼児とその保護者を対象としたコンサートを実施する。各施設年1回の実施。	5月～3月 (計4回)

1 日こども館長 事業	科学・自然・歴史・文化に興味関心をもち、将来の職業選択のきっかけづくりを行なうことを目的に、各施設において 小学校 4 ～ 6 年生を対象とした職場体験を実施する。	8 月～1 月 (計 4 回)
------------------------	---	----------------------------